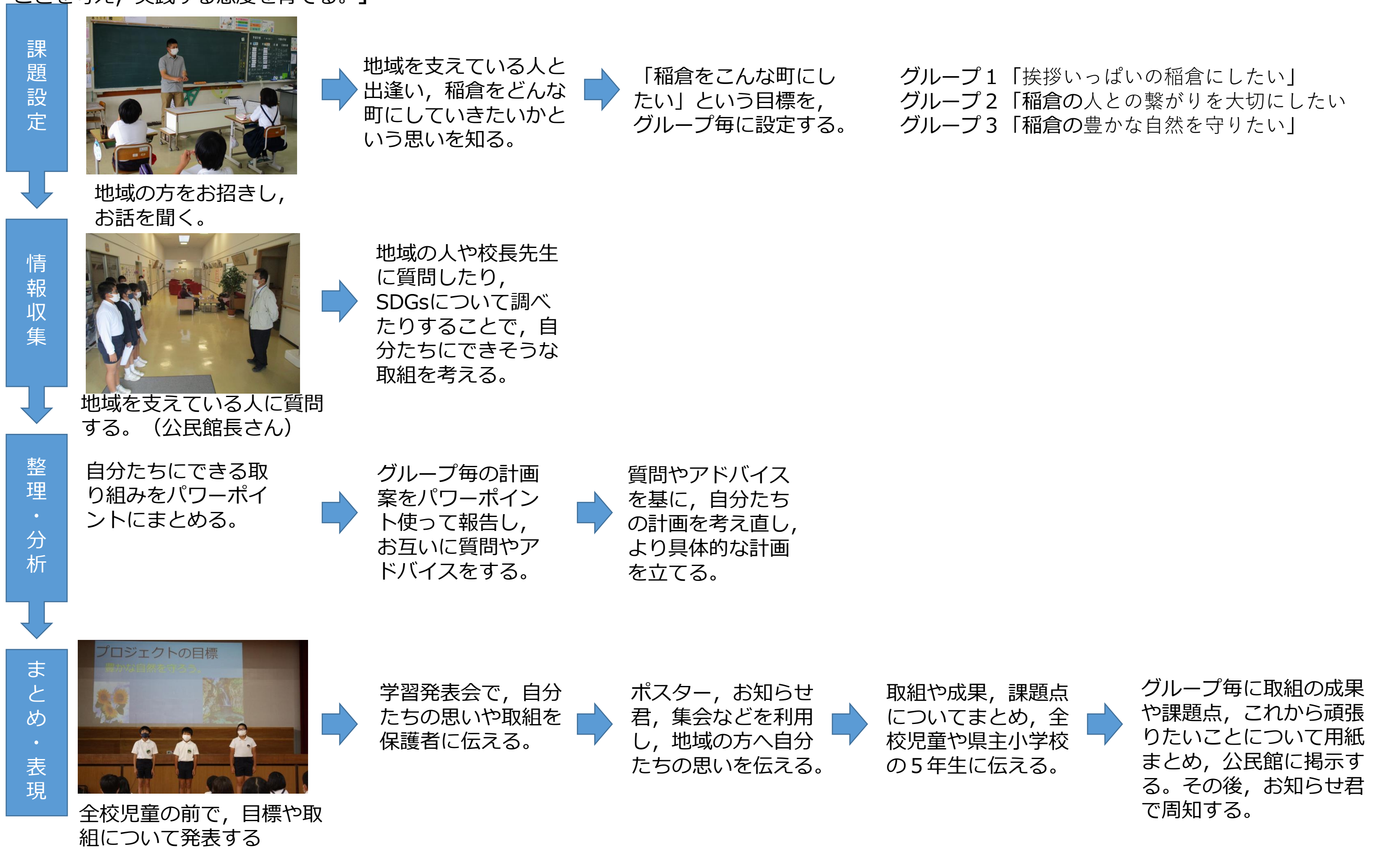


稲倉小学校・5年 単元名『稲倉で働く人』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【藤原 光利】

◆単元のねらい「地域を支えている人たちと出逢うことを通して、働く人の思いや願いを理解し、稲倉をより良くしていくために自分たちにできることを考え、実践する態度を育てる。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 課題設定で、地域の方に話をさせていただいたのはとても良かった。特に、「自分が稲倉のために何ができるのかを考えること。してもらうのを待つのではない。」ということをお話していただき、今後の活動にスムーズにつなげることができた。
- 3つのグループに分かれることで、子供たちの一人一人の活躍の場が増え、達成感を味わうことができたり、稲倉のために頑張りたいという思いを高めたりすることができた。
- △アンケートを依頼し、色々な方に「稲倉の良い点や課題点、どんな町にしていきたいか」を聞けば良かった。（例）・公民館長・町づくり協議会 ・山下議員・水谷サイクル・PLAN B等
- ☆地域の人たちとの関わりをさらに増やし、地域の方と一緒に取組を進めていきたい。